



## Lovely Pictures from Eniwa

④ブルーライトとは  
どんな光でしょう？

1. 目睡眠を促す光
2. 紫外線に近い光
3. 視力を回復させる光

校長 鬼武伸哉

保護者や地域の皆様は、「カナダからの手紙」という歌をご存知でしょうか。生徒が知らないことは承知していますが、本校の教職員でさえ、半数は「そんな歌は聞いたこともありません」という顔で私を見ます。「ラブ・レター・フロム・カナダ」で始まる平尾昌晃さんと畑中葉子さんがデュエットで歌う往年の名曲です。個人的には、聴き心地がよく、歌いやすいメロディーラインであったことと、現在と違いSNSの利用が皆無に等しかった時代で、異郷の人と文通することが密やかな楽しみの一つであったこともあり、「カナダから手紙が来るってどんな感じだろう」など、想像するだけでワクワクしていたことを覚えています。

ホームページでお知らせしておりますが、先月22日(木)に和木小学校の6年生が来校し、数学と英語の授業体験と部活動見学をしました。英語の授業で、6年2組の指導を担当した教員が「私の名は、ある有名な方のパートナー(妻)と同じなの」と誇りをもって児童に紹介しました。授業後に、「どうしてジョン・レノンのパートナーと同じなのと言わなかったんですか」と尋ねると、「小学6年生にジョン・レノンと伝えてもわかりませんよ」という返答でした。6年1、2組の担任の先生方にはぜひ、彼らが本当にジョン・レノンを知らないか確かめてほしい気分です。なぜなら、その時私は宇崎竜童さんが歌われた「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」を引き合いに出して、児童に説明しようとしていたレベルの認識だったからです。20世紀で最も有名なロックバンドの一つ「ビートルズ」が小学生の頭の片隅にも残っていないとなると寂しくなります。

本校のいたるところに、目の健康について意識してほしいというねらいでクイズが用意されています。2学期にやはりホームページでお知らせしておりますが、10月14日(火)～16日(木)の3日間、学校保健実習のために『岩国YMCA』より来校した学生が作成し、掲示したポスターです。職員室前のトイレ脇に、「ブルーライトとはどんな光でしょう？」というクイズとその答えが3択問題として提示されていますが、私が「ヨコハマの光」と口にしても誰も頷きませんし、ニヤリと笑う教職員すらほとんどおりません。まさに、「昭和は遠くなりけり」、隔世の感が拭えません。保護者の皆様の世代でも、よほど昭和歌謡に愛着を覚えておられないかぎり、本校教職員の大半と同様の受け止め方をされることと推察します。

「降る雪や 明治は遠く なりにけり」 中村 草田男(俳人・国文学者)

先月末まで、本校の玄関ホールに、北海道の恵庭市立恵庭中学校の生徒が描いた素敵な絵が展示されていました。本校生徒の作品も同時期に、恵庭市内の中学校で現地の子どもたちの目に触れていたことと思います。以前、学校だよりで紹介しましたが、今年度の夏休みに、恵庭市立恵庭中学校の校長先生と恵庭市内の中学生や小学生が本町を訪れ、本校及び和木小学校の代表児童、生徒と交流しております。その際、恵庭中学校の工藤校長先生と「今年度中に一度は、両校の生徒会役員同士のオンラインによる交流を実現しましょう」と約束しておりました。年度末のあわただしい時期を迎えておりますが、改めて「交流をお願いいたします」とお話ししたところ、快諾していただきました。やはり学校だよりでお知らせしておりますが、昨年度の夏、現地を訪問させていただき、和木町と恵庭市の姉妹都市としての交流の歴史についてほんの少しではありますが、学ばせていただきました。明治19年(1886年)岩国・和木地方の65戸の人々が恵庭を本格的に開拓し始めたことと教えていただきました。およそ140年前の開拓です。当時、開拓に取り組まれた方々は食糧不足や重労働、厳しい寒さ、さらにはようやく実った作物が野ねずみや野うさぎの被害にあったことなどにより、初年度には餓死者2名を出すほどの過酷さだったと伝えられています。そこから始まった長い年月にわたる交流が本町と恵庭市との固い絆につながっていると思います。和木町民である子どもたちには、たとえジョン・レノンや平尾昌晃、いしだあゆみの歌に興味はなくても、恵庭市内に住む同世代の子どもたちがどのような活動をしているかには関心を抱いてほしいと思います。「どのような学校行事があるのだろう」とか「校庭に雪はどれほど積もっているのだろう」とか、「まもなく開幕する『ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック』の正式種目である各種スキー、スノーボード競技やスケート競技等に取り組む環境は整っているのか、または市出身の代表選手はおられるのか」等、話題は尽きないことと思います。どんな交流になるのか楽しみです。

## 新年度に向けて 小中連携事業「授業体験」「部活見学」「入学説明会」開催

表面で触れましたが、1月22日（木）には、和木小学校の6年生が数学と英語の授業体験をするために来校し、クラスごとに5、6校時の時間帯を使って教科の学習に取り組みました。6年生が集中して課題に取り組んだり、友人と協力しながら活動したりする様子が印象に残っています。授業体験後は、生徒会役員や3年生有志の誘導で部活動の様子を見学しました。部活動については、本校の部に入部するかどうか、入部する場合は何部にするかについて4月までにじっくりと考えて決めてほしいと思います。27日（火）には、本校体育館で6年生とその保護者を対象にして、「入学説明会」を開催しました。本校の学校生活について、生徒指導主任が説明し、その後、制服や体操服等の採寸がありました。現在のところ、来年度の学級数は今年度同様、特別支援学級を含めて8学級、生徒数は191名を予定しています。



## 学校運営協議会を開催しました

1月29日（木）の18時から、コミュニティ・ルームで「令和7年度第4回学校運営協議会」を開きました。後期学校評価アンケートの分析をもとにして「来年度以降の和木中学校をよりよくするために」をテーマに、委員が熟議をすることを中心に進めました。また、学校評価をいただくために、学校としての自己評価を説明し、質疑応答をしたり、学力向上部会、心の教育部会、体力向上部会の担当教員から本校の取組をお知らせしたりしました。委員の方々から様々なご意見やご指導をいただき、心から感謝しております。



## 面接練習実施中！

3年生にとって、進学先を決定する高等学校等の入学試験が続いています。1月27日（火）には高水高等学校の一般入学試験が行われ、本校からは25名の生徒が受験しました。そうした試験に備えた練習の一環で、日々、面接練習を3年生の担任や副担任の教員が試験官になり実施しています。1月26日（月）には、地域の方や町教委の主事にご来校いただき、ご指導いただきました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

